



第31回「ふるさと時代祭り」

ふるさと時代祭り開催

9月1日、市の一大イベントである「ふるさと時代祭り」が行われました。大名行列では今年も国道139号を使用し、盛大に行われ江戸時代の城下町のにぎわいを再現しました。今回も例年通り関係自治会の皆さんをはじめ、消防団、小・中学生、都留文科大学生と留学生、地元企業の皆さんなど、たいへん多くの方々のご協力をいただきました。

大名行列と神楽、屋台の巡業

当日は天気にも恵まれ、日曜日だったこともあり、市内外からおよそ1万5千人もの観光客が訪れました。ユーモラスな奴や、りりしいお殿様、可憐なお姫様と腰元、可愛らしい子どもたちなどに、多くの声援が送られ、写真撮影などが行われていました。

今年も古式に基づき国道139号で四日市場宮本神楽が先導し、大名行列と4台の屋台巡行が競演し、まるで時代絵巻を再現したような光景に沿道で見っていた人は暑さも忘れて引き込まれていました。

祭りの始まり・宵祭り

前日には4町の豪華絢爛な屋台が谷村に繰り出す「宵祭り」が行われました。この日のために一生懸命練習した町内の人々が三味線やお囃子を披露しました。それぞれの町の豪華な屋台の姿と、屋台ごとに特色あるお囃子の演奏競演は圧巻でした。

クライマックスと花火のファイナーレ

大名行列に並行して、メイン会場の谷村第一小学校校庭では威勢のよい和太鼓を始まりとし、保育園・幼稚園、毛槍おどり保存会、連合婦人会、じょいそーらん舞鶴、都留大名連による演技が披露され会場を沸き立たせていました。大名行列から屋台4台が会場に到着し、四日市場宮本神楽が獅子舞を演じ終えると、大名行列が会場に登場しクライマックスを迎えました。奴の「ア、ヨイヤマッカ、ヨイ」という歯切れのよい掛け声が響き渡り、観客から拍手喝采を浴びていました。その後暗くなったあと、ファイナーレの花火が出店や八朔宮都留のステージでにぎわう谷村の夜空を彩り、夏の終わりを華麗に演出していました。

城下町都留を象徴する

「ふるさと時代祭り」

華やかな行列の出演者や豪華

絢爛な飾り幕をまとった屋台が

かつての江戸時代の風景を幻

想的に再現した。



「下にい 下にい」

先目付の掛け声と

「しゃん しゃん

カン カン」

金棒、拍子木の音が響き渡り、

「ア、ヨイヤマッカ ヨイ」

奴たちの威勢の良い掛け声が谷村の町にこだました。



「多くの方々に作られるふるさと時代祭りに、作る側の立場で参加できた事、最高の経験をさせて頂けた事に感謝しています。」



しらす けいこ
白須 慶子さん

都留市鹿留出身。2006年『ウェザーニュー』の「おは天キャスター」としてデビューし現在は女優として活躍中。主な出演作はNHK大河ドラマ『八重の桜』、NHK『花の誇り』、映画『しあわせになれない悲しい花』主演など。
<http://ameblo.jp/shirasu-keiko/>

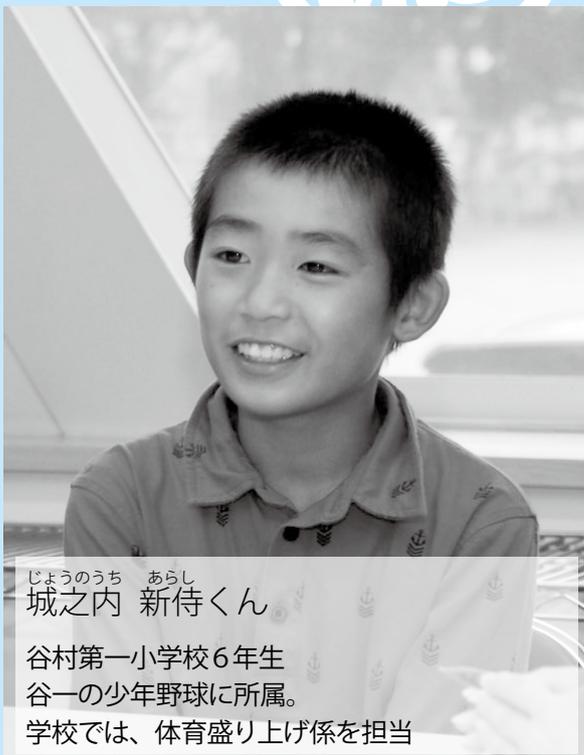
—姿勢や立ち振る舞いが美しく、さすが女優さんと話題でしたが、普段演技されている時と気持の上で違いはありましたか？
—そんな評価を頂けて、すごく嬉しいです！小さい頃から、都留市で日本舞踊を教えている親戚のおばさんに、踊りと着物の立ち居振る舞いは厳しくされていたので：そのおかげでしょうか。普段の演技とはだいぶ違いがありますよ！頂いた役で「姫」になる事はあっても、「白須慶子」のまま「姫」になるというのは、すごく気恥ずかしかったです。用意されたセリフではなく、沿道の方から「綺麗」と言っていただけで、思わず下を向いてしまいました。20歳の時に信玄公祭りの「湖衣姫」をやらせて頂いたのですが、あの時はまだ若く、嬉しい楽しいだけでしたが、少し大人になった今、あんなにたくさんの方に注目されて、素敵なお言葉をかけて頂けて、とてもくすくすつたく、口元が緩んでしまいました笑

—道中、感動して泣きそうになってくださる方がいたり、「女優さんですって」「朝ドラや大河にも出てらっしゃい」という言葉が聞こえてきましたか、とにかく一番嬉しかったのは「そんな人が都留市にいたんだね」という言葉。他県に山梨のPRをする番組などには出演させて頂いているんですが、山梨県内では、中々自分をPRする機会がありません。そんな中、ずっと言い続けているのですが、私の目標は「山梨に住んでいる方、特に地元都留市の方々に、あの役者さんには都留市出身だよ」と知って頂けるようにしたい」というものなんです！役者という道を選んだ娘の親というのは、きつと色々な苦労をしていると思うので「頑張ってるよ！」という姿を見せられる機会を頂けた事に感謝しています。地元の皆さんに、応援していただけるよう、これからも「山梨県都留市出身」を掲げて、頑張っていこうと、改めて意気込んでいます！

—貴重なお話をありがとうございました。

お殿様・お姫様に独占インタビュー！

「とても良い思い出になりました」



じょうのうち あらし
城之内 新侍くん

谷村第一小学校6年生
谷一の少年野球に所属。
学校では、体育盛り上げ係を担当

—大名行列のお殿様の配役が子どもなのは平成16年以来9年ぶり、ということですが、どうでしたか？
—僕は今まで、行列の中で鉄砲や弓、槍の役をやっていたので、実は今回で大名行列に参加するのは4回目でした。なのでそこまで緊張はしませんでした。
—当日は馬に乗ったり、お殿様の豪華な衣装を着たりと大変だったと思いますが、暑くなかったですか？
—少し着物が重かったけど、野球をやっているせいかな、そこまで暑くは感じませんでした。初めて馬に乗ったのですが、意外と怖くありませんでした。
—沿道にたくさんの方が見に来ていましたか？どんな気持ちでしたか？
—友達はずっと行列に付いてきてくれたり、話しかけてくれたりしたの

で、緊張はしませんでした。幼稚園の時の先生も見に来てくれて「かっこいいね」と言ってくれたのが嬉しかったです。ちょっと恥ずかしかったです。
—出演した次の日、学校で友達にどう言われましたか？
—友達に「殿」と呼ばれました。でも今はもう呼ばれていません。
—家族はどんな反応でしたか？
—おじいちゃんにお殿様用の化粧を面白いと笑われました(笑)。
—あと、お父さんも前に若殿の配役を担当したことがあるので、親子でこういう経験したことがあるのは、良い思い出になるなと思いました。これからも出演していければと考えています。
—貴重なお話をありがとうございました。